

第41回 先進企業見学・研修会

- 開催日：2018年(平成30年)5月24日(木)
- 見学先：世界遺産「富岡製糸場」
株式会社SUBARU 群馬製作所 矢島工場/スバルビジターセンター
- 集合・出発：7:30 信州大学繊維学部正門前 (AREC帰着予定 18:00頃)
- 定員：40名(参加を希望される方が多数の場合は1社1名とさせていただきます)
- 持物：名刺・筆記用具
- 行程：全行程貸切バス
- 当日連絡先：080-8836-3120 当日はこちらの番号にご連絡下さい。
- 主催：一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター
東信州次世代産業振興協議会

スケジュール

(7:30) 信州大学繊維学部発 = <上信越自動車道> = 横川SA(休憩) = (9:30)富岡製糸場着 = (9:30~10:30) 富岡製紙場見学 = <上信越自動車道> = 昼食(11:15~12:00) 藤岡PA ハイウェイオアシスにて自由行動
= <北関東自動車道> = (13:00) SUBARU着 = (13:00~15:00) SUBARU見学 = (15:00) SUBARU発
= <北関東・上信越自動車道> = 横川SA(休憩) = 信州大学繊維学部(18:00頃)

世界遺産「富岡製糸場」

富岡製糸場は、群馬県富岡に設立された日本初の本格的な器械製糸の工場である。1872年(明治5年)の開業当時の繰糸所、繭倉庫などが現存している。日本の近代化だけでなく、絹産業の技術革新・交流などにも大きく貢献した工場であり、敷地を含む全体が国の史跡に、初期の建造物群が国宝および重要文化財に指定されている。また、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として、2014年6月21日の第38回世界遺産委員会(ドーハ)で正式登録された。時期によって「富岡製糸場」(1872年から)、「富岡製糸所」(1876年から)、「原富岡製糸所」(1902年から)、「株式会社富岡製糸所」(1938年から)、「片倉富岡製糸所」(1939年から)、「片倉工業株式会社富岡工場」(1946年から)とたびたび名称を変更している。史跡、国宝、重要文化財としての名称は「旧富岡製糸場」、世界遺産暫定リスト記載物件構成資産としての名称は「富岡製糸場」である。(Wikipediaより引用)

株式会社SUBARU

スバルビジターセンターは2003年7月15日にオープンし、工場見学のお客様にSUBARUの歴代の車、SUBARUの個性的な技術や安全への取り組みなどを紹介している施設です。工場見学の際は専任の案内係が丁寧にご案内させていただきます。

<見学内容>

- ①スバルビジターセンター(工場説明ビデオ鑑賞)
- ②工場見学(プレス工程・溶接工程・最終組立工程)
- ③ビジターセンター館内見学

※都合により見学内容を変更する場合があります。

<見学の際のご注意>

- ・構内の写真撮影はご遠慮ください。(スバルビジターセンター内は可)
- ・構内での飲食、喫煙はご遠慮ください。
- ・見学通路は階段が多くあります。歩きやすい靴でお越しください。
- ・工場内は2階部分の見学通路よりご覧いただけます。

●お申込先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

メール(mousikomi@arecplaza.jp)またはファックス(0268-21-4382)でお申し込みください。

※当日受付後、ネームホルダーをお配りしますので、**名刺を入れ**、見学時は装着ください。

AREC・Fi i プラザ 第41回 先進企業見学・研修会 参加申込書 【平成30年5月24日】

企業名			
参加者名		年齢	
所属・役職			
当日の朝、連絡が取れる番号			
メールアドレス			

●ご記入いただいた個人情報(御社名・所属/役職・氏名)は参加者名簿として、訪問先企業、参加者の方々に配布する予定です。